



議会だより

なおいま

2026
No.217
令和8年10月9日

発行●香川県直島町議会
編集●広報編集特別委員会
電話●(087)892-2297
印刷●山陽印刷(株)

アートの島 **なおいまの
「シンボル」**

南瓜

赤かぼちや



《南瓜》 草間彌生 2022年 ©YAYOI KUSAMA



草間彌生「赤かぼちや」2006年 直島・宮浦港緑地

草間先生 お世話になりました

「赤かぼちや」と「南瓜」

これからますますと大切に育てていきます

次期瀬戸芸受け入れ体制充実を(事務報告質疑)・・・4～6P

自助の強化・公助の強化を等(一般質問)・・・7P

診療所経営年々厳しい状況等(町長・教育長報告)・・・8・9P

「次回は知人も一緒に」(傍聴記)・・・・・・・・11P

「すぐにできないからおもしろい」

(がんばつりよるで)・・・・12P

2025が開催 38億1556万円

令和8年第4回直島町議会定例会が9月8日から14日までの会期で開催されました。

一般会計・特別会計・簡易水道事業会計・下水道事業会計の決算認定、令和8年度補正予算など報告2件、議案17件を審議し、いずれも原案通り可決し、全日程を終了しました。

事務報告(抜粋)

本町の財政状況は、町税が増収となったものの地方交付税の減収により、財源不足の解消には至らず、基金からの繰り入れを行なうとともに、必要最小限の地方債発行で対処しました。

また、歳出全体に占める公債費の割合は減少しているものの、厳しい財政状況となっていますが、町の将来を見据えて必要な事業を実施するため、離島振興法や辺地・過疎対策事業を利用し地方債残高を減少させ、国・県からの支援を最大限利用し、厳しいながらも健全な財政運営に努めました。

こんな事業に使いました

子育て支援(おむつ・ミルク等助成)事業	180万円
なおしまキッズポート運営業務委託	980万円
本村排水ポンプ修繕工事	1887万円
焼却施設設備補修工事	3064万円
有害鳥獣対策事業(イノシシ他駆除業務)	472万円
瀬戸内国際芸術祭2025関連経費	2101万円
直島の火まつり助成	1450万円
直島パヴィリオン塗装補修工事	55万円
本村60号線舗装工事	1194万円
中筋2の4号線道路改良工事	3300万円
横防・八日山地区急傾斜地崩壊対策県営事業負担金	1139万円
直島港護岸工事他県営事業負担金	1805万円
外新田団地外壁改良工事	3092万円
第1分団屯所更新工事	12245万円
救急患者搬送業務	5440万円
中高生海外研修事業	134万円
中学校屋上防水改修工事	9179万円
下水道長寿命化工事	4290万円

令和7年度直島町決算一覧表

(単位 千円)

会計別	歳入		歳出	
	予算額	決算額	予算額	決算額
一般会計	4,050,840	4,051,977	4,050,840	3,815,556
国民健康保険事業特別会計	384,371	372,135	384,371	355,195
介護保険事業特別会計	468,474	469,288	468,474	453,559
診療所事業特別会計	274,438	277,876	274,438	262,813
後期高齢者医療事業特別会計	80,633	80,692	80,633	80,190
宅地造成事業特別会計	6,406	3,354	6,406	3,354

※ 一般会計については、前年度からの繰越事業費繰越額を含む。

簡易水道会計	収益の収入		収益の支出	
	予算額	決算額	予算額	決算額
	506,717	535,796	495,906	486,955
	資本の収入		資本の支出	
	予算額	決算額	予算額	決算額
	64,405	64,403	173,666	148,710

交流人口増加の鍵となる 瀬戸内国際芸術祭

こんな事業に使いました

本村排水ポンプ修繕工事

直島の火まつり

なおしまキッズポート運営業務委託

中筋2の4号線道路改良工事

第1分団屯所更新工事

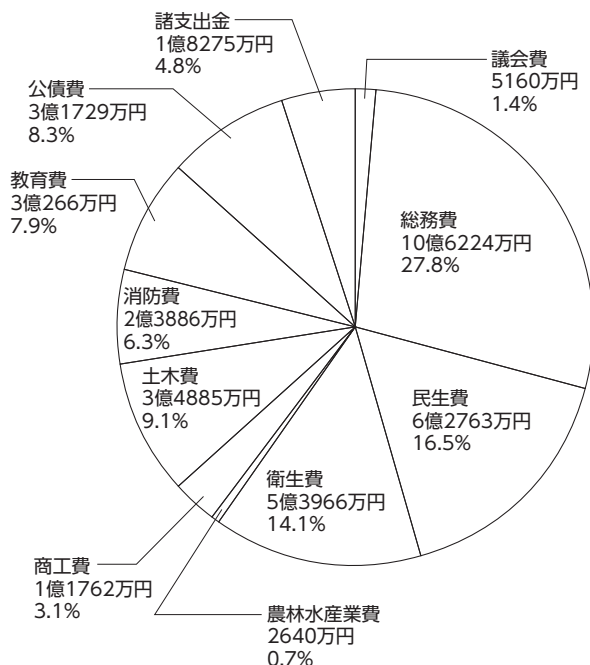
救急患者搬送業務

中学校屋上防水改修工事

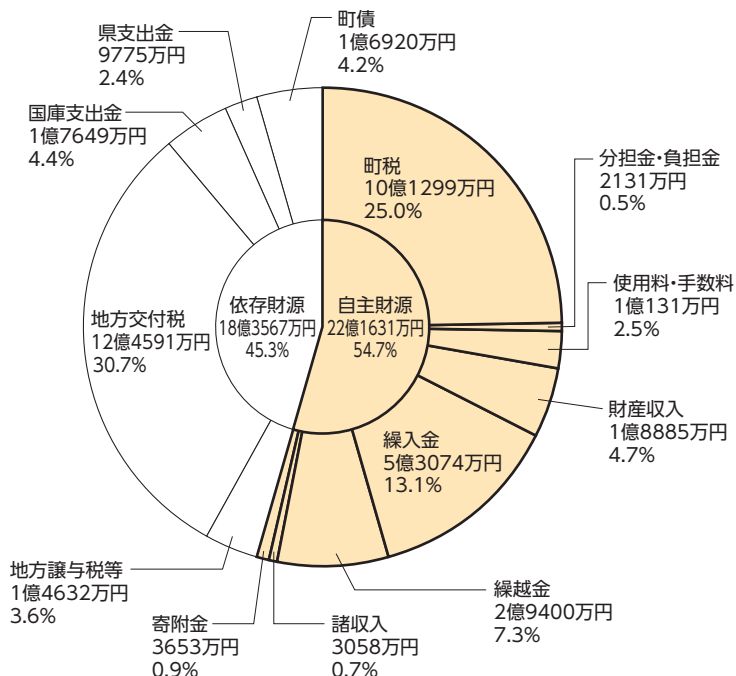
中高生海外研修事業

令和7年度一般会計歳入歳出 構成図

歳出（支出）
38億1556万円



歳入（収入）
40億5198万円



次期瀬戸芸

受け入れ体制の充実を要望

決算事務報告

主な質疑

診療所の経営状況

Q (浜口) 診療収入は大きく減収、外来収入についても減収となっていることから、一般会計から1億6000万円の繰入れをしている。

今後、抜本的な経営の見直しが必要になった場合でも、365日24時間の現体制を維持していくのか。

A (町長) 可能な限りこの体制は、続けていきたい。

Q (宮原) 入院患者が大幅に減少となった要因は。

A (診療所事務長) 入院受け入れの規制が昔より厳しくなっていることが要因となっている。

いる。

Q (宮原) 今後の経営改善に向けた対応

策は。

A (診療所事務長) 看取りや転院によ

る在宅までのつなぎの入院は、受け入れることを他の医療機関へ働きかけている。

また、介護でのショートステイの利用についてもケアマネや地域包括支援センターを通じて利用を促すようお願いしている。



経営改善に向けて対策を

直島の基幹産業

Q (小野) 現在の三菱マテリアル社の

状況は、中国に対抗するため、原料調達や製品販売を同業他社と統合。また、アメリカでのレアアースなどの事業への投資が報道されている。

町の基幹産業として今後も事業展開を要望してほしい。

A (町長) 現在、増産に向けて工場の

拡張をしていることなどから、製錬所が直島からなくなることは考えたことはない。

また、毎年本社に行きお願いしている。

瀬戸内国際芸術祭

2009

Q (山上) 6回目と

なった瀬戸芸の直島への来場者数は。

A (産業環境課長) 期間中の来場者数は、33万8459人だ。

Q (西岡) 昨年の瀬戸芸は大変多くの

方が来島し、活気のあるものになった。

しかし、宮浦港は大変混雑し、解消のために横断歩道の設置など予算要望をした経緯がある。

次回は複合施設が完成し、それ以上の混雑が予想される。ぜひともガードマンの増員をお願いしたい。

A (町長) 横断歩道については必要であると認識している。ガードマンの増員も含め、町としてきっちと県に要望する。

Q (山上) オーバーツーリズムとなり、特に帰りのフェリーは積み残しが多発している。

終了後の県実行委員会総括で次回への対策など要望したか。

A (町長) 現在これらの対策については協議中であり、発表できる段階ではない。



乗船のための長い列

直島女文案

Q (山下) 浄瑠璃の方がいないと聞いているが、今後の存続は。

A (教育長) 現在、人形遣いが13人、浄瑠璃が3人の16人となっている。うち50歳未満の人形遣いが9人。浄瑠璃が1人であり、若い座員が増えつつある状況だ。

つり公園

Q (宮原) つり公園の今後の事業展開は。また、固定桟橋の解体についてどう考えているのか。

また、固定桟橋は危険な状態だが、現在進めている複合施設にまず全力をあげて、見通しがついてから考えたい。

A (町長) 事業は現状維持したい。

また、固定桟橋は危険な状態だが、現在進めている複合施設にまず全力をあげて、見通しがついてから考えたい。

Q (宮原) 複合施設の完成に注力しているのは理解できるが、他の課題も並行して進めていくべきでは。

A (町長) 反論するが、常に他の課題についても優先順位を考

え真摯に向き合っている。



今後の展開は



危険な通学路

通学路の安全対策

Q (西岡) 木村プロパンの裏の通学路はイノシシがよく出没する。周辺の草刈りが進んでいないが、子どもの安全のために定期的に草刈りをしてほしい。

A (産業環境課長) 現在、環境班の人員は3人で、作業できる範囲が限られている。通学路の草刈りについては、職員も手伝いながら進めていきたい。

電子投票

Q (浜口) 今年の県知事選挙では普通

寺市で電子投票を実施、開票時間は大幅に短縮できたと聞いている。本町でも導入に向けて検討してはどうか。

A (町長) 衆議院選挙であれば、選挙区、比例区、最高裁審査があり複雑となる。

費用対効果から考えれば現段階では効果が得られないと思う。ただ将来的には検討すべきだと考える。

町の人口推移

Q (山上) 昨年1年間の自然動態と社会動態数は。

A (住民福祉課長) 自然動態は出生15人、死亡46人で31人の減。社会動態は転入207人、転出216人で9人の減となっている。

また、窓口で回答が得られた移住による転入者は9人だ。

決算認定

一般会計

固定資産税の内訳は

Q (宮原) 固定資産税の土地・家屋・償却資産の金額は。

A (税務課長) 土地が8252万円、家屋が1億4188万円、償却資産が4億8354万円だ。

(県営事業負担金の内訳は)

Q (山上) 県営事業負担金の主な事業の内訳は。

A (建設水道課長) 直島港の地震津波、宮浦港ビクターバス、直島港護岸改良が納言様と八日山地区の2件だ。



直島港津波対策

(通学費補助の対象人数は)

Q (中根) 高校生に対する通学費補助の対象人数は。

A (教育次長) 岡山方面が11人、高松方面が41人だ。令和8年度は、岡山方面が21人、高松方面が36人だ。

(何を改良したの)

Q (西岡) 観光費の工事請負費は、何を改良したのか。

A (産業環境課長) つつじ荘の電源増設、大浴場のガス給湯器取り替え、大広間空調機更新工事などだ。

(ごみへの負担金)

Q (山上) 救急患者搬送業務負担金は玉野市消防への負担金か。また、救急車の利用件数は。

A (総務課長) 玉野市に対する救急業務事業への委託負担金で、救急車の要請件数は35件だ。

(どのような交付金か)

Q (西岡) 地域活力向上のための市町等総合交付金は、どんな交付金か。

A (総務課長) 救急患者等搬送業務費に充当している交付金で、目的は地域課題解決の施策に対する財源で、県からの補助金だ。

特別会計

(後期高齢者医療事業)なぜ保険料収入が増えたの

Q (中根) 保険料収入が増えた原因は。

A (税務課長) 定額減税がなくなったことが大きな要因だ。

討論

一般会計

賛成 (浜口)

女文楽の充実に努められ、若い後継者の確保も進んでおり、これを継続されることを要望する。

特別会計

(診療所事業)

賛成 (浜口)

365日24時間、安心して町に住むことができる診療所になるとともに、経営改善することを望む。

監査報告

限られた財源で最大の効果を、

監査委員 大林 清
// 浜口 敏夫

令和7年度の一般会計・特別会計・簡易水道会計・下水道会計について審査した結果、計数に誤りはなく、会計経理は適正と認めた。

(主な指摘事項)

(一般会計)

税の徴収率は99・6%と高水準を維持しているが、使用料及び手数料の一部で滞納が見受けられる。

限られた財源で最大の効果を発揮するよう創意と工夫をこらした行財政運営を望む。

(国保会計)

保険税滞納額が増加している。税の徴収率向上と医療費の適正化を図るよう一層の努力を望む。

(診療所会計)

毎年、一般会計からの多額の繰入金で運営している。住民から信頼され親しみのある診療所として経営努力し、一層健全な財政運営に努めるよう望む。



西岡 議員

近年、甚大な被害をもたらす地震が相次いで発生している。当町においても、南海トラフ大地震がいつ発生してもおかしくない現状だ。

そこで、「自助の強化」の重要性を町民にしっかりと理解してもらうために、防災教室の実施や、広報



山下 議員

町長の所信表明には「役場の仕事はサービス業だ」と書かれている。12～13時の1時間は当番が2人いるが照明を落とし、業務が止まっており、昼休みしか庁舎に行かない利用者から不便だとの声が届いている。昼休みを前半後半に分け、業務を止めることな

自助の強化・公助の強化を

〔町長〕 災害に強いまちづくりに取り組む

紙による各家庭での備蓄を積極的に周知啓発を行なうべきではないか。

また「公助の強化」について。現在、災害時に「コープかがわ」と物資協定の締結をしているが、地震の影響で港が壊滅的な被害にあった場合は、孤立状態になり物資の搬入が困難になると考える。

〔町長〕 「自助の強化」だが、南海トラフ地震などの大規模災害が発生した場合、行

災害時に物資を県や自衛隊のヘリコプターや、輸送艇で輸送していただくよう、事前に県と輸送協定を締結していただき、町民の安心を確保するべきではないか。

〔町長〕 「自助の強化」だが、南海トラフ地震などの大規模災害が発生した場合、行

〔町長〕 「自助の強化」だが、南海トラフ地震などの大規模災害が発生した場合、行

〔町長〕 「自助の強化」だが、南海トラフ地震などの大規模災害が発生した場合、行

昼休みの見直しを

〔町長〕 現状は変えたくない

く利便性を上げることができないか。

〔町長〕 交替制で休憩を取ることは法的に可能だ。現在、日直と住民福祉課職員1人の2人体制で住民票や各種証明書の発行、税や公共料金の収納など、最低限の窓口業務は対応している。

また、この時間帯が1日のうちで最も窓口や電

13時以降の需要が多い時間帯に職員が半数では手薄となり、かえってサービス低下を招く恐れもある。

近年、全国の自治体では働き方改革やデジタル化を背景に、昼休みの窓口閉鎖や開庁時間を短縮する動きが広がっているが、本町では従来どおり

政による「公助」には限界があり、発災直後には町民一人ひとりの「自助」、また地域で助け合う「互助」が非常に重要になる。

災害直後は、食料や飲料水などの物資がすぐに届かないことも想定される。各家庭で食料や飲料水をはじめ、必要な生活用品を1週間程度を目安に備蓄していただくことが重要だ。

また、今後も広報紙や町ホームページ、防災に

〔町長〕 日直1人と住民福祉課が必ず1人いるので、現状は変えたくない。

〔町長〕 本町の場

〔町長〕 本町の場

〔町長〕 本町の場

〔町長〕 本町の場

関する教室・講座などさまざまな機会を活用し、町民にわかりやすく伝えていく。

〔公助の強化〕では、県をはじめ、関係機関との連携体制を確保しておくことは非常に重要であると認識し、有事の際の協定を締結しているところだ。

また、既に県との間において防災ヘリの応援に関する協定を締結しており、協定の枠組みの中で災害時の応援を受けることがない。

〔町長〕 本町の場

〔町長〕 本町の場

〔町長〕 本町の場

〔町長〕 本町の場

〔町長〕 本町の場



命をつなぐ備蓄を



昼休みの1階風景

も対応しているので、利便性を図れると思うが、一番いいのは何か、調査・検討をしながら、より良い直島にするため職員一丸となって取り組んでまいりたい。



小林町長

できるだけ
繰り出しを
減らす

診療所経営 年々厳しい状況だが

(主なもの)

- 6月8日 福島真希さんがカナダのオンタリオ州ミシサガ市で開催される「Japan Festival CANADA 2026」の協議のため来庁されました。
- 6月24日 就実大学経営学部八巻教授ほか「たまの観光塾」についての協議のため来庁されました。
- 6月25～26日 台風7号接近に伴い大雨警報及び土砂災害警報が発令され、災害対策本部を設置し避難所を開設などの対応にあたりました。
- 6月30日 県の大山副知事ほか意見交換のため来庁されました。
- 6月30日 総務省自治財政局準公営企業室の有村課長補佐ほか公立病院等医療提供体制確保支援事業のヒアリングのため来庁されました。
- 8月4日 琴平町観光商工課の森本課長ほか瀬戸内アートツーリズム計画について説明等のため来庁されました。
- 8月7日 玉野市建設部及び岡山県南部水道企業団を訪問し、夏季の挨拶を申し上げます。
- 8月18～20日 岡山県立玉野光南高校による野外活動（遠泳実習）がふるさと海の家「つつじ荘」ほかで実施され、これに参加しました。

主な質疑

調査結果は

Q (浜口) 京都大学等のプロジェクト

チームが直島研究調査の報告に来ているが、調査結果でどのような報告があったのか。

A (町長) 京都大学・東京大学・奈良先端科学技術大学院大学3校が共同で2年間、直島の調査を行っていた。

最終報告ではないが、アンケートの内容は、イ

ンバウンド者は、瀬戸内の景色を見に来るとともに、アートと自然との融合が一つの魅力とのことだ。後日詳しい報告があると思う。

目的と協議内容は

Q (宮原) 就実大学の教授と「たまの観光塾」について、どんな協議をしたのか。

A (町長) 当町への来島者は玉野市が通過点であって、滞在は少ないということだ。就

実大学主催で解消に向け

た協議だ。

ペットとの避難所は

Q (山下) 以前「ペットと避難できる場所をホームページのどこかに掲載できるかも」と言われたが、その後どうなっているのか。

A (町長) まだできていない。今後、担当課と協議をしていく。

宿泊税対象の施設は

Q (西岡) まだ、細かいことは決まってい

ないが、対象はホテル



玉野光南高校の遠泳学習

だけか、個人経営の民宿も該当するのか。また、1人当たりの宿泊税の金額は。

A (町長) 現在、いろんなところでヒ

アリングを実施中である。県の協議会の最終的な判断はもう少し先だが、民宿も宿泊税の対象だと聞いている。

遠泳学習は毎年なのか

Q (中根) 昨年、今年と遠泳学習を実施しているが来年も行なうのか。

A (町長) 玉野光南高校の考えもあると思うが、当分の間は、来るのではないかと考えている。

経営改善が必要では

Q (山上) 公立病院等医療提供体制確保支援事業だが、ふれあ

い診療所は年々厳しい経営状況になっている。この事業は、町から国にお願いしたのか、それとも国から指定されたのか。

A (町長) 町から国に対して手を挙げ

た。7年度は、診療収入も減っており、町の方針としては、できるだけ繰り出しを減らすためにヒアリングをしていたが、良い方向になればと思っている。

水道料金の改定は

Q (小野) 玉野市は水道料金が上がる

と聞いている。直島も将来的に水道料金の改定があると思う。現状何か決まっていることはあるのか。

A (町長) 玉野市の水道料金は来年ぐ

らいに値上げすると聞いている。町はまだしばらく値上げはしない。



津山教育長

(主なもの)

- 6月1日 県中学校部活動地域展開推進協議会第1回定例会に出席しました。
- 6月7日 町文化協会芸能大会を参観しました。
- 6月9日 第1回総合教育会議に出席しました。
- 6月10日 町社会福祉協議会の監事として、令和7年度理事の職務執行状況について監査を実施しました。
- 6月12日 町在住の高校生が在籍する興陽高校・玉野光南高校・玉野高校・玉野商工高校を訪問して在校生徒の状況等を聞き、来年度以降の受け入れをお願いしました。
- 6月29日 直島文化村代表取締役社長吉田氏と福武財団経営企画室香川氏が来室され、小中学校の学校教育について尋ねられました。
- 7月1日 町社会教育委員・公民館運営審議会委員合同会議、第1回町地域学校協働本部委員会に出席しました。
- 7月9日 小学校校内研究授業で第1学年の外国語活動の授業を参観しました。
- 7月29日 令和8年度地域行政意見交換会に出席しました。
- 8月5日 東部教育長会・東部教育長会研修会に参加しました。
- 8月19日 玉野光南高校校長と副校長が遠泳合宿の挨拶に来庁されました。

部活動の 地域展開の進捗は

徐々に
進展している

主な質疑

在籍数は

Q (松島) 岡山県公立高校の在籍人数は。

A (教育長) 興陽高校1人、玉野光南高校2人、玉野高校11人、玉野商工高校が7人だ。

Q 部活動の地域展開の進捗は

A (中根) 町も推進しているが、他の

市町は。

A (教育長) 高松市は令和9年9月から、さぬき市は令和10年9月から地域展開をする。他の地域についても徐々に進展している。

Q 授業の内容は

A (西岡) 小学校の研究授業で外国語活動の参観とあるが、内容は。

Q (教育長) 外国語活動は学習要領では3・4年生が対象だが、

A (教育長) 外国語活動は学習要領では3・4年生が対象だが、



1年生から英会話

当町は特別教育課程特例校認定校なので1・2年生から。お互いに会話する学習で小学1年生が楽しく活動していた。

委員会の内容は

Q (中根) 町地域学校協働本部委員会とはどんな内容か。

A (教育長) 学校外活動や各種ボランティア活動、登下校の見守り活動等、地域学校協働活動の企画及び学校支援ボランティアの募集登録実施評価等を行なう仕事。

学校教育に地域の方が柔軟に参画できるようにしくみだ。

協力したい内容とは

Q (山上) 福武財団が小中学校に協力したいとのことだが、教育長が考える協力内容は。

A (教育長) 福武財団は学習指導の企業でもあるので学力向上の支援を。また、美術関係の協力もいただければいいかなとの話をした。

既に小学校ではふろさと学習ということで、美術館や家プロジェクトに行つて学習もしていたっている。

地域行政意見交換会で

Q (小野) 当町として出した意見は。

A (教育長) コンピューターを使う能力を高める方向で次期学習要領が検討されているが、町には現在技術科の先生は不在。全国で技術の先生が不足しているので、増やすような施策の検討を要望した。

東部教育長会研修会とは

Q (西岡) どんな研修内容だったか。

A (教育長) 東部教育事務所が県東部管内3市4町の学校を訪問し、学校経営や授業について指導・助言をしており、その状況報告だ。



福武財団での学習

委員会リポート

整形外科

外来はじまる

十分に検討し

対応してほしい

山下
委員長

中根
委員長

経済・民生

総務・文教

A

(事務長) 予約優先で症状にもよる

Q

(浜口) 整形外科の外来診療は何人くらい診られるか。

入院患者数
(前年度 17人)
外来患者数
(前年度 28人)
3107人
(前年度 3291人)
時間外救急患者数
84人
(前年度 73人)

令和8年度診療状況
(6月末)

〔診療所〕

出合い隊「島コン」

〔企画電算室〕



消防団夏季訓練

7月6日 実施
参加者 76人

消防団夏季訓練

〔総務課〕

利用者数 1610人
実施日数 104日

子育て支援拠点事業
(キッズポート)

サロ事業売上金額
(7月末) 186万円
営業日数 106日
福祉有償運送事業利用者数
高齢者 277件
障がい者 402件

社会福祉協議会事業

〔住民福祉課〕

が、1人15分程度で1日7〜8人が限度かと思う。

令和8年度全国学力
学習状況調査結果

〔教育委員会〕

7月末現在 22件
303万円

ふるさと納税

7月11日〜12日 実施
参加者 男6人、女5人



盛り上がった「島コン」



放課後を過ごす児童たち

利用者数 2022人
実施日数 100日

こどもの生活支援強化
事業(セイラーズクラブ)

〔産業環境課〕

鳥獣捕獲数(7月末)

カワウ 15羽
タヌキ 2匹
カラス 4羽
イノシシ 9頭
ヌートリア 1匹

応募作品数 106点

エコTシャツアート展

つり公園(7月末)

営業日数 86日
入園者数 748人



個性豊かなTシャツ

4月23日 全国で実施
結果

●小学6年

〔国語〕全国・県平均を下回る。

〔算数〕全国平均を下回り県平均とはほぼ同じ。

家庭学習時間は全国、県平均を上回っているが、「自分によいところがある」と思っていない児童が半数近くいる。

●中学3年

〔国語〕全国・県平均を上回っている。

〔数学〕全国・県平均を上回っている。

かなり上回っている。

規則正しい生活、家族とよく話をする、自分によいところがあると考え

る生徒が、全国・県平均を大きく上回っており、全員が学校に行くことが楽しいと思っている。

〔井下〕学力、学習調査だが、小学6年生は家庭学習は、全国、県ともに上回っているが、「自分によいところがある」と思っていない児童が半数近くいる。いっぽう、中学3年生は

Q

学習調査だが、小学6年生は家庭学習は、全国、県ともに上回っているが、「自分によいところがある」と思っていない児童が半数近くいる。

規則正しい生活、家族との会話、自分によいところがあるなどの質問に対して、そう考える生徒が全国・県平均を大きく上回っているが、要因は。〔教育長〕特定することは難しい。直島の場合は1学年20人程度なので、一人ひとりの結果が全体の平均に大きく影響する。今回は学年の差が大きく出たので、十分に検討してほしいと小中学校には依頼している。

令和8年度

補正予算

一般会計

歳入歳出予算の総額にそれぞれ1177万円を追加し、38億6223万円となりました。

内訳は次のとおりです。

歳入

●前年度繰越金

1177万円追加

歳出の主なもの

●特別職報酬等審議会委員報酬 10万円追加

●国保会計操出金

354万円追加

(主な質疑)

Q (浜口) 特別職報酬等審議会委員の報酬が追加補正されているが、その算出基礎は。

(総務課長) 委員は10人で2回の予定。報酬は1回5千円だ。

A (山上) 当町の特別職報酬は、他町と比較ではどのあたりか。

お詫びと訂正

議会だより216号3ページ下段「令和7年度補正予算」は「令和8年度補正予算」の誤りでした。

お詫びして訂正いたします。

和8年度補正予算」の誤りでした。

Q (山上) 当町の特別職報酬は、他町と比較ではどのあたりか。

A (総務課長) 町長・副町長は県内で最下位、議員は類似団体での比較では中間より少し下だ。

診療所会計

香大医学部の整形外科医が月2回診療に来てくれることになり、66万円を追加補正するものです。

討論

賛成 (浜口)

お年寄りが多い当町では整形外科への要望は非常に多い。よって原案に賛成する。

答弁

ペット同行避難所の掲載を、町ホームページがハザードマップにわかりやすく掲載できないか。(令和8年3月定例会 山下議員)

ペットの同行避難は町においても重要な課題だ。

環境省のガイドラインに基本方針が示されているし、他の自治体もペット受け入れ可能との明記があるのは承知している。

ハザードマップの目的は、町民の安全安心のため事前の情報共有手段として作成している。また、避難所は収容人数やスペースが異なり、ペット同行可との明記は混乱すると考える。

ホームページの見やすい場所に掲載できないか。

答弁

その部分だけ載せるのは可能だ。今後検討する。

台風7号接近時にホームページを見たが、ペット同行避難に関する掲載はなかった。ホームページ掲載の検討は進んでいるのか。

(令和8年9月定例会 山下議員)

答弁

まだできていない。ペット同行避難所について、今後担当課と協議しながら考えていきたい。

(小林町長)

傍聴記



鈴木 久子 さん

人生初の傍聴体験

ふれあい通信にて情報を得て前日に傍聴しに行こうと思った。

当日、入り口さえもわからず進んだ先は議長席の真裏。慌てて逆の方へ向かうと扉に傍聴の文字が見えたので詳細に気づかず中へ入って腰を下ろしたら、係の方に傍聴者氏名の記入を促された。



石田 和正 さん

直島町の議会を傍聴に行ってきました。

直島町の財政のことも知りたかったですが昼で帰ってしまい、次回は長くなるつもりです。

私が思ったのは、もっと真剣に町民のことを考えて質疑してほしいです。

最後に、直島町の財政はどうなっているのか知りたかったのですが、次回はそこを傍聴しに行きたいです。

次回も傍聴に行きたい

